

平成20年度 区内文化芸術団体・施設に対するインタビューの実施結果について (概要)

- I 文化芸術団体に対するインタビュー調査結果の概要について (概要)
- II 文化芸術施設に対するインタビュー調査結果の概要について (概要)

1 目的

区内で様々な文化・芸術活動（以下「活動」という。）を実践している団体・施設の方々の声を数多くいただき、新宿区文化芸術の振興に関する懇談会における議論を更に充実したものにしていいため実施した。

2 対象

社団法人日本芸能実演家団体協議会（以下「芸団協」という。）のデータベースに登録されている新宿区内の文化芸術団体及び文化芸術施設から抽出した団体など計37団体

3 内容

対象者の活動状況、活動内容、活動上の課題、区への期待など

4 調査方法

文化芸術振興に関する専門的なノウハウやスキルを有する芸団協へ委託を行い、相手方に出向き、インタビュー調査を実施した。

I 文化芸術団体に対するインタビュー調査結果の概要について（概要）

1 他の団体との連携や施設との連携はありますか？（Q.4） 26件

1 新宿区・教育委員会・文化センターと連携を行っている。（行っていた。）	(9件)
2 他自治体と連携を行っている。（行っていた。）	(7件)
3 民間施設と連携を行っている。	(3件)
4 旦那衆・支援者がいなくなった。	(1件)
5 企業との連携を行っている。	(2件)
6 連携は困難、連携の問題点等	(4件)

2 地域と関わりのある公演を行うことはありますか？（Q.5） 30件

1 区内の人・団体・施設等を対象とした地域と関わりある公演を行っている。	(8件)
2 他団体や全国を対象とした地域と関わりある公演を行っている。（行っていた。）	(9件)
3 区の事業を通しての地域との関わりを持ったことがある。	(3件)
4 地域との関わりの難しさ・留意点	(4件)
5 その他の意見	(2件)
6 回答なし	(4件)

3 活動していく上で課題と考えていることはありますか？（Q.7） 32件

1 広報・集客（観客の確保）が課題	(6件)
2 活動場所・稽古場の確保が課題	(5件)
3 団体会員の確保・世代交代が課題	(2件)
4 活動費・運営費などが課題	(6件)
5 文化芸術や団体活動への理解・訴求していくことの大切さ	(9件)
6 その他	(2件)
7 なし	(2件)

4 新宿区に対して抱いているイメージをお聞かせください。（Q.8） 44件

1 歌舞伎町・新宿駅前の雑踏・ターミナル・西口の高層ビル群・東京の中心・外国人の多さなどに代表されるイメージ	(24件)
2 多面性を持つ懐の深いまち（であるが、守りに入ったまち）	(5件)
3 劇場のまち（劇場の閉鎖が続くまち）	(5件)
4 文化芸術振興（文化芸術振興の取り組みの弱さ）	(3件)
5 土地の記憶を大事にしたいまち	(1件)
6 子どもたちに文化を根付かせることが難しいまち	(2件)
7 情や人間関係が希薄になっていることを感じるまち	(2件)
8 なし	(2件)

5 文化芸術に対する新宿区民への期待をお聞かせください。(Q.9)

18件

- | | |
|---|------|
| 1 文化芸術を通して人としての生き方を学んで欲しい、人を理解する気持・想像力を身につけて欲しい、学び・理解する場として活用してほしい。 | (9件) |
| 2 自主的な文化芸術活動を行う区民が増えてほしい。 | (1件) |
| 3 日本の文化・伝統芸能に対する興味・理解を高めてほしい。 | (3件) |
| 4 街や文化資源に興味を持ってもらいたい。 | (2件) |
| 5 その他 | (3件) |

6 文化芸術に対する新宿区への期待、条例に対する期待をお聞かせください。(Q.10)

75件

1 条例づくりへの期待 (5件)

- ①「文化は行政との協力の中で自分たちで作っていくものである」ことを条例に盛り込んで欲しい。
- ②「区民が元気になる」条例、「子どものことを考慮した」条例づくりをお願いしたい。
- ③区が文化芸術振興の役割を担う。実演家の我々も役割を担う。協力を惜しまない。
- ④文化芸術振興の持続的な取り組みを条例に明記する。
- ⑤新宿力につながる条例をつくる。

2 新宿区への期待 (70件)

(1) 団体の力を活かして欲しい・区民と団体をつないでほしい (6件)

- ①劇団には人的資源があり、人と人をつなぐことができる力を持っている。この力を区に使うてもらえたら。演劇人が培ってきた血を使って、お手伝いができる。(2件)
- ②アートを支援するためには、アートボランティアを育成することが、行政としてやるべきこと。そのための窓口がほしい。そうすれば、もっと気軽に区民がアートに参加していきやすくなる。
- ③いくつかの劇場で話がつながっている演劇を10話ぐらい連続公演でやるのも観客がいるんな劇場を知ることができる…等。

(2) 区とのコミュニケーションの場を確保する・垣根を払いたい (4件)

- ①新宿区もコミュニケーションをいかにとるか真剣に考えてほしい。小さな意見を拾ってほしい。
- ②町医者に来ている年寄りの患者さんの話を聞くようなことも必要。そういう話の中に、行政がやるべきことが含まれているのではないかな…等。

(3) 活動の場・発表の場を確保したい。(9件)

- ①区民の生活の場に近いほど発信したものが直に伝わる。まとまった大きなセンターや舞台をつくるということではなく、歌舞伎町の中のお店をスタジオや小さな上映会のスペースにするなど、いろいろな場所に活動の場・発表の場を確保したい。新宿コズミックセンターの2階のスペースでも小学生が発表をしていて面白かった。
- ②区の所有の土地やビルなどを開放してほしい。やる側が自由にプランしたいので、土地や建物をまるごと使わせてほしい。
- ③連続して活用できる発表の場、四谷区民センターの予約優先権のような特典があるとよい…等。

(4) 稽古場・交流の場を確保したい (9件)

- ①稽古場の不足は問題。安く使えた場所がなくなること困っている劇団は多い。公共では制限がありすぎて、民間は高いとなると、しわ寄せはチケット代に反映され、劇団の運営を圧迫する。文化に対して行政が手を貸してくれるのなら、稽古場が急務。
- ②稽古使用に関してルールを作る必要はあるだろうけど、公共施設については、もうちょっと緩やかに。毎朝晩、舞台の組み立てと解体を繰り返すのは物理的に不可能に近い…等。

(5) 区の文化芸術振興施策に対して (42件)

- ①区民の文化芸術鑑賞や参加体験の機会を増やす (2件)
- ②子どもたちの文化体験の機会を増やす (6件)
- ③伝統・文化資源を大切にす・歴史資源を掘り起こし・発信する (4件)
- ④新宿の文化資源を発信し、新宿に惹きつける (3件)
- ⑤土地柄を活かす (1件)
- ⑥活動家・活動団体を支援する枠組みをつくる (3件)
- ⑦パブリックシアター・核となる劇場を確保する (8件)
- ⑧小劇場を支援する (3件)
- ⑨お抱えの劇団、カンパニーを創設する・誘致する (5件)
- ⑩文化芸術に理解ある企業等の支援を仰いでいく (1件)
- ⑪無形文化財の普及活動の支援や学校教育と連携した、子どもたちが伝統文化に親しむ機会が拡大し、地域の文化が次の世代にきちんと継承できることが可能になることを期待する。 (1件)
- ⑫その他の意見 (9件)

Ⅱ 文化芸術施設に対するインタビュー調査結果の概要について（概要）

1 他の団体との連携や施設との連携はありますか？（Q.5） 16件

1	出演者による施設の運営サポート	(1件)
2	海外劇団との連携	(1件)
3	ミュージシャンの登録・派遣	(1件)
4	同じ地区の他施設と連携してのイベントの実施（企画中）	(2件)
5	実演家と連携しての公演・ワークショップの実施	(2件)
6	区施設（出張所、保育園）との連携	(2件)
7	バスのメーカーとの連携（生徒の施設への送迎）	(1件)
8	同業者とはスタンスが異なるので団結しにくい	(1件)
9	回答なし	(5件)

2 地域とかかわりのある事業をされることはありますか？（Q.6） 16件

1	公演実施時の商店街への声掛け	(1件)
2	老人介護や家族愛などの社会問題を取り上げた公演の実施	(1件)
3	区や地域とは協力したい。	(2件)
4	小学校との連携（ワークショップ、鑑賞事業、学校出張等）	(4件)
5	子供向けプログラムの実施	(1件)
6	学生、新入社員向け公演の実施	(1件)
7	教職員向け割引の実施	(1件)
8	消防署の防災訓練への出演	(1件)
9	地域祭りや街頭でのパフォーマンス	(1件)
10	ボランティア登録の実施	(1件)
11	一緒にやりたいとは思わない。	(1件)
12	回答なし	(1件)

3 施設を運営していく上で、課題と考えていることはありますか？（Q.7） 19件

1	施設のバリアフリー化	(2件)
2	より快適な施設作り	(2件)
3	古い施設なので維持管理が困難	(2件)
4	施設の維持に必要な収益の確保	(1件)
5	手続きが煩雑で、国の助成金の申請が難しい・できない	(2件)
6	歌舞伎町の（悪い）イメージの、集客への影響	(1件)
7	人手不足	(2件)
8	文化事業をいかに持続可能なシステムとして構築できるか	(1件)
9	道路上の施設誘導標識の設置が法令上困難	(1件)
10	若い人の集客	(1件)
11	経営上の「商売」と「来場者サービス」とのバランスの確保	(1件)
12	消防法への対応	(1件)
13	回答なし	(2件)

4 新宿区に対して抱いているイメージをお聞かせください。(Q.8)

34件

1	歌舞伎町・新宿駅前の雑踏・ターミナル・西口の高層ビル群・東京の中心・外国人の多さなどに代表されるイメージ	(1件)
2	色々な年代・国籍の人がいて、色々な文化が混在している。	(5件)
3	芝居にとっては一番素材が豊富な場所	(5件)
4	何気なくプラッと劇場に入れる雰囲気があるまち	(1件)
5	渋谷とも六本木とも違う良さがあるまち	(1件)
6	新宿御苑や中央公園など緑も比較的多い。	(1件)
7	地の利が良い。	(1件)
8	区民がボランティア活動に興味を持っているという感じ	(1件)
9	(エネルギー等がある)昔と違い、どこにでもある(大人しい)街になった	(5件)
10	飲む街	(1件)
11	敷居が高い。	(1件)
12	ビルが増えた。	(1件)
13	文化人が減っている。	(1件)
14	歌舞伎町は昔は健全な娯楽街であったが、今は異国の雰囲気怖い	(1件)
15	良く言うとエキサイティング、悪く言うと危険なまち	(1件)
16	一般的な若い人が住みにくい	(1件)
17	商業地が大きいので区外から来る人が多い。	(1件)
18	区民に区民意識があまりない。	(1件)
19	神楽坂や下落合も新宿区だと言われても一体として新宿区という気がしない	(1件)
20	多文化共生というが、まだ多文化点在という感じ	(1件)
21	新宿にふるさと感覚を持っている区民は圧倒的に少ない感じ	(1件)
22	回答なし	(1件)

5 文化芸術に対する新宿区民への期待をお聞かせください。(Q.9)

16件

1	ぜひ(気軽に)来場(施設を利用)して欲しい。	(4件)
2	地域の人がここ(施設所在地)をシアター通りみたいにして欲しいと嬉しい	(1件)
3	子どもは(義務教育のうちに)、生の演劇、音楽、美術等に触れておくべき	(2件)
4	社会にうまく乗った人たちだけで構成する社会は弱い。 建築家や実際に手を動かす大工さんのような人たちに主導権を握ってほしい。	(1件)
5	高齢者の人たちはダンスや音楽で喜びを見つけてほしい。	(1件)
6	ニートは働き場所として文化施設を考えてほしい。	(1件)
7	回答なし	(6件)

6 文化芸術に対する新宿区への期待、条例に対する期待をお聞かせください。(Q.10) 63件

1 条例づくりへの期待 (4件)

- ①日本の取り組みは遅れているが、区だけでも条例ができて文化芸術が振興できればいい。
- ②新宿がきちんと条例を作っていかなければいけない。今回、女性の区長でやる気があるって文化芸術の条例ができるということに大変期待を寄せている。
- ③区は図書館構想を立てているが、条例ができることで子どもを真ん中に据え置いた図書館づくりという風に影響を及ぼすものになるかもしれない。
- ④区は区立幼稚園を沢山抱えているが、どんどん民間への移行を図っている。区立幼稚園の空間が空いてくるので、そこを文化芸術の拠点にできればよい。条例ができることによってそうなれば良いと思う。

2 新宿区への期待 (59件)

(1) 文化芸術振興に対する基本的な理念・姿勢を持って欲しい。(4件)

- ①まず区が積極的に文化を何とかしようとする姿勢を持ってほしい。
- ②文化を奨励しますというような姿勢がいい。
- ③区は区内の文化施設がどうあるべきかという提言をもっと出しても良いと思う。
- ④区長や館長が代わっても続く仕組みを作らないといけない。

(2) 文化のまちづくりとして (8件)

- ①「ハレ」の場であってほしいので、おしゃれな街としての雰囲気作りをしていく。
- ②新宿を単なる通過点ではなく立ち寄っていただける場所にできるとよい。
- ③歌舞伎町を健全な文化のまちへ変えてほしい。
- ④四谷五小跡に吉本興業がきて、芸能文化が盛んになると期待している。
- ⑤神楽坂地域で考えてみると、もう少し若い人たちをひきつけることが必要。画廊や小劇場はあるし、スポットは増えてきている。
- ⑥この施設のような建物がどんどんなくなって残り残していくことは重要だと思う。区が残したい建物として、協力を申し出ることがあっても良いのではないか。
- ⑦区立美術館を持ってないなどの弱みは梃入れしないといけないが、民間に任せていても発展しそうなことは放っておいてもいい。歴史博物館があることのメリットは生かせばよい。強弱、メリハリをつけて、強みを生かした骨太の施策をお願いしたい。
- ⑧2001年に上野美術館を活性化するための地下街活性化案があったが、新宿も地下街が発達しているから、活用してみてもどうか。

(3) 情報の発信や周知活動に力を入れて欲しい。(5件)

- ①プロモーションに区の力を(例えば区内のライブハウスを全部区が貸しきった無料公演の実施など)
- ②区内で上演している芝居を広報紙に掲載する。
- ③広報活動における区と文化施設のタイアップを図りたい。
- ④色々な所から人が来るが、地元からもっと来て欲しい。その情報を届ける情報システムを区が積極的に整備してほしい。
- ⑤区内の色々な公演情報を発信するサイトができたり、区広報にも魅力的な情報を発信できるようになると良い。広報はかたいイメージでみんなあまり見ない。

(4) ネットワークづくりに期待したい。(10件)

- ①劇場のネットワーク作りが必要。各劇場から1本ずつ作品を出し合ったりスタンプラリーみたいなものはどうか。
- ②民間同士では限界があるので、行政がネットワーク作りを行う。集まりの場をセッティングするだけでも良い。年1回位関係者の交流会のようなものがあると良い。
- ③小さいスタジオなどスポット同士の情報交換・連携ができるシステムがあると良い。
- ④やりたいという想いを持つ人のため、集うための「拠り所」を作る。
- ⑤区内の文化施設をはしごできるようなパンフレットを作る
- ⑥美術館めぐりのようなものができれば良いと思う。
- ⑦350万人の乗降客に対して、区は色々なPRができる。JRと連携したりして、文化を楽しんでもらうためのアピールをしてほしい。
- ⑧ぐるっとパス（歴史文化財団主催）やメトロ、民間もデパートやレストランと一緒に5%オフとかしているが、なんでもありだと利用者があまりいない。美術なら美術、演劇なら演劇と特化しないと、コアなお客さんの心は掴めない。(2件)
- ⑨寝たきり高齢者が踊れるダンスをやりたがっているアーティストがいるので、区でぜひ引っ張り出してほしい。

(5) 施設への支援、施設周辺の整備に期待したい。(7件)

- ①補助金が必要である(3件)。
- ②区のものではないが、厚生年金会館やコマ劇場など、行政がもう少し文化的なものを維持する努力をするべきだと思う。
- ③公共的な活動をしている施設なのだから、区側が表示を出す動きをしてほしい。
- ④繁華街に文化施設利用者の駐車場を確保してほしい。
- ⑤自転車のマナーが悪い。きちんと取り締まって歩きやすいまちを実現してほしい。

(6) 区による施設整備等を期待したい。(4件)

- ①都庁近くに若い人向けの劇場を建てて欲しい。
- ②使い勝手のよい中劇場があると良い。
- ③大きさではなく、使い勝手の良いハードを作るという考え方が必要。
- ④周辺に文化施設ができてくれば嬉しい。それを労働として吸収できればなお良い。

(7) 学校の取り組みへの期待・子どもへの働きかけなど(7件)

- ①小学校がもっと芸術文化の恩恵を被れるようにしてほしい。
- ②文化芸術資源が埋もれている。多様化した文化を整理して、教材化できるものを小学校の総合学習の中で「新宿学」「新宿文化論」のような形で学べると良い。
- ③教育委員会と連携を強めて、イベント等で学校に対していろんな協力ができると良い。
- ④子どもが真ん中のまちづくりをやってもらいたい。
- ⑤地域の小学生中心の鑑賞の取り組みをもっと区全体や都全体に広げ、他の地域でもできたら良い。
- ⑥施設に来ても良いし、小学校や中学校に伺う形でも良い。大人になる前に一度観ておくという経験をしてもらいたい。

⑦最も生きる力を育み感性を豊かにするのは芸術科目。一番力を入れるべきなのに、あまり議論されずに、国語算数理科社会の基礎学力をいかに伸ばすかということにばかり目が向いている。

(8) 区の文化振興施策に対して (14件)

①地域活動の支援

- ・地域のイベントを区が支えてほしい。

②活動の場・発表の場の確保

- ・集客力が低い団体にも、公共の施設を利用させて欲しい。

③行政の専門性・水準の確保 (2件)

- ・行政は異動があり、専門的な人材が育たない。芸術文化の専門的な人材を入れる。
- ・区自体の美術に対する意識が低すぎる。標準レベルに上げないといけない。

④その他の意見 (10件)

- ・デパートや大企業で税収が上がった分を、デパートや大企業によって端に追いやられた人々が恩恵を受けられるような循環が必要。
- ・風呂券のように、文化施設利用券の発行
- ・住民向けだけでなく、就業層向けの満足感づくりも必要と思う。区主催で、働いている人向けのイベントをやると良い。
- ・文化活動を持続させていくということへの見通しが無い場合が多い (2件)
- ・区のどういうところに相談に行けばよいのか、その窓口が分からない。
- ・区の文化活動をまとめてはどうか。横断する組織があれば、スムーズに物事が運ぶのでは。
- ・東口と西口をつなぐバスのペイントをPRに使ってはどうか。
- ・文化も大事だが、身障者のような社会的弱者に対する救済を手厚くしてほしい。
- ・都政に関するアンケート結果では、子どもの頃から文化や美術に親しむ機会を設けてほしいが1位、一流の芸術や音楽や演劇を鑑賞できるように支援する、料金面でもサポートしてほしいが2位。これを区にあてはめる必要があるのでは

7 その他自由にご意見等をお聞かせください。

39件

1 施設の運営の基本理念・目標 (文化芸術の振興に対する考え方) (3件)

- ・集客を一生懸命やるが、ミュージシャンには「自由に好きなようにやってください」と言っている。そういうところからオリジナリティが出てくるという考えを貫いている。
- ・日本独特のオリジナリティを出すためには、「こうやれ、ああやれ」と言うのではなく、ミュージシャン個人々人から他にないものを出してこななければいけない。
- ・芸術文化の「まちの駅」を目指したい。ステーション的役割を果たして、他の施設のことなど、芸術文化に関する様々なことをアナウンスできるような交流関係が結べればと思っている。

2 施設の運営で工夫していること（19件）

- ・搬出入は夜のみ、設備は古い、舞台袖はない。使いにくいからこそ、劇団からの要望へは、真心こめて誠意を込めてできるだけ対応しようと人海戦術で頑張っている。
- ・招待券を頂く団体の公演を見に行き、新しい劇団をいつも発掘している。
- ・貸館は、ホールにふさわしいか選定を経た上で貸し出している。
- ・民間ベースでの横の連携もやらなければと考えていて、例えば入場券を相互に見せ合うと割引になるなど、やれると良いと考えている。
- ・先着順で参加者を募集するプログラムは好評で受付開始後10～15分で一杯になる。
- ・場所があれば敷き舞台を敷いてでもできるし、体育館の床でもワークショップ的なことをやる。区内の施設はあまり使ったことがない。
- ・よく外国人も観にくる（主要ホテルのコンシェルジェにダイレクトメールを送っている）。
- ・トイレを改修したら、若い女性客が増えた。トイレだけはホテル並みに綺麗にしないと、女性客は来てくれないという話を聞く。
- ・自慢なのは自分で劇団を持っている人、作・演出をやっている人に、スタッフをやってもらっていること。ライバル心で作品を見ることができる。
- ・ずっとミュージシャンにお願いして仕込んでいる。ホール貸しになると、誰でもお金払えば借りられる場所ということで何でも良いことになってしまい、イメージがなくなる。
- ・新宿と一緒に「新宿文化ここにあります」という形で幅広くアピールしていきたい。
- ・文化庁はレジデンスや海外からの招聘でサポートしてくれる。
- ・芸術文化振興基金からプログラムに対するサポートを受けている。
- ・EUジャパンフェスト日本委員会は、年間どう使っても良いという形でサポートしてくれている。
- ・海外から来る人は、公的なサポートが少ないことに驚いている。
- ・文化庁や芸文基金は、年1回の受付けだが、EUジャパンフェストはいつでも受け付けてくれる。
- ・「友の会」を設け、優待をしている。
- ・入館者に軽く一声かけてあげるだけで楽しみ方が全く変わってくる。
- ・基本財産の利息と寄付ではやっていけないので、場所貸しをしている。収益がないとやっていけないので、収益性と公益性のバランスで収益が50%を超えるため、公益申請は難しい。

3 他施設、組織等との連携・交流など（5件）

- ・博物館や音楽図書館協議会と連携し、邦楽全体の発展に寄与するという目的がある。
- ・業界タブロイド紙があり、そこでみんな情報を得ている。他の会から送られてくるチラシを置いたりもしているが、本当にすべての公演情報をまとめている機関はない。
- ・全国各地からおもちゃ職人たちが技術交流でやってくる場や、木のおもちゃの文化を高めるために集う拠点にもしたい。
- ・六本木商店街は官民関係なく、交差点を中心に街路樹に文化イベントの告知を掲げ、かなりの文化支援をしている。
- ・新宿、渋谷の連合体で文化の取り組みができると、広がりができる。新国立劇場との境が区境で、警察も消防も管轄が違う。ちょっと混乱するようなこともある。

4 その他、施設を運営している感じる事など（12件）

- ・有名でいろんな劇場で出ている人でも、ここで聴くのが一番良かったと言ってもらえるのがうれしい。
- ・今は、お芝居よりも楽しい娯楽が他にも一杯ある。お芝居が伸び悩んでいるのは、真に魅力ある芸術ではないから？
- ・外から見えるイメージとは全く異なり、実際にハコを作ってミュージシャンを誘致して客を入れ経営するということは、外から想像もつかないほど大変で、経営的にはものすごく苦しい。
- ・いつも発売すぐに完売してしまい、リピーターも多い。リピーターの方がまた知らない人を連れてくる。地域の方がいらっしゃることが多い。
- ・3000円近いお金を笑うために出してくれているというのは、精神的にも経済的にも余裕のある人が入ってきてくれていると思う。
- ・人を喜ばせたい、芸の道を極めたいと思っている唢家をサポートし、お客さんがお金払って満足してくれるのは、いい商売。下請けを泣かせることもないし、元受に媚び諂うこともない。現金しか動かない、堅気な商売
- ・新聞社が芸術美術を支えてきた歴史があるが、経営が厳しいため、確実に儲けられる大きな展覧会にしか出資しなくなった。小さい展覧会がやりにくくなっている。
- ・文句にしろ批判にしろ、観客の目が肥えているのが東京で公演することの魅力
- ・「NPO」と付いていると、海外では信頼度がぐっと上がる。
- ・ニューヨークのパブリックシアターは1ヶ月1ドルで劇場を貸したりする。上げると税金払い、1ドルなら税金かからない。全国から戯曲を募集し、いいものは無料で鑑賞させる。好評なものは最終的にはブロードウェイにまでいく。運営面で学ぶことは多いはず。ヨーロッパは芸術監督制。儲かるかどうか以前に、自分たちがやりたいことをやる、という姿勢。日本はアメリカとヨーロッパの両方を取り入れていて、つまり国としての理念がない。
- ・イスラエルでダンス公演を観に行ったときに、中学生高学年ぐらいの子どもが最初は走り回って煩いが、始まると集中して観る。観客層の底辺層の広さに驚いた。
- ・国の社会保障費も高齢者には60%ぐらい使って、子どもの予算は4.5%ぐらいしか使っていない。フランスやドイツなど先進諸国を見ても、子どものことにこんなに社会保障費を投じていない国はない。